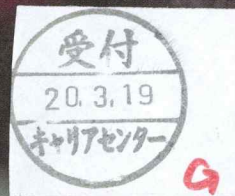


リアルは
一色なんか
じゃない



NHK

リアルは 一色なんか じゃない

どこか遠くで起こっていることにも
今、目の前で起きていることにも
リアルはある

ありふれた日常では色あせて見えるのに
恋をしたら急に輝き出したり
手が届きそうなのに、ひらりと逃げていったり
角度によってもいろいろな見え方をする
リアルは決して一色なんかじゃない

ありのままを切り取るだけなら
ロボットにだって、AIにだってできる
何を伝えたいのか、誰に伝えたいのか
どうやって伝えるのかは、あなた次第

さあ、一緒に

カラフルでリアルな世界を伝えよう

公共メディアNHKを支える3つの柱は「番組をつくる」、「組織を動かす」、「技術で伝える」です。各分野のプロフェッショナルたちが放送とサービスを充実させ、組織の運営を支えています。

番組をつくる

■ ディレクター



番組の企画提案から、取材、出演者との交渉、台本作り、演出、ロケ、編集、そして放送に至るまで、番組作りのすべての過程に携わる。情報・報道、教育・教養、ドラマ・芸能など、さまざまなジャンルの番組の中から自分の専門を決めていく。どの専門分野でも自分の思いをカタチにする粘り強さとチームワーク、そして時代をとらえる感性と創造性が必要。

■ 情報・報道

政治・経済・科学文化や国際問題など現代社会のあらゆる事象をテーマにドキュメンタリーを制作し、最先端の動きをビビッドにニュース番組で伝える。人々の暮らしや土地の美しさを描く紀行番組や、五輪やワールドカップサッカーなどスポーツ中継・番組も担当する。

■ 映像デザイナー

あらゆるジャンルの番組のビジュアルを受け持ち、番組をより魅力的にするため、柔軟な発想で美術やビジュアル面のさまざまな工夫を凝らす。スタジオ、ステージ、ロケの美術セットから、CG、映像合成、特殊撮影、バーチャルセットまで、映像設計全般に携わり、番組の企画意図を分かりやすく表現する。



■ 教育・教養

「ガッテン!」「プロフェッショナル 仕事の流儀」「ダーウィンが来た!」「歴史秘話ヒストリア」など、ドキュメンタリー、歴史や美術、自然科学、語学、料理、健康、趣味といった、視聴者の知的好奇心に応じて暮らしを豊かにするさまざまな番組を担当する。また「天才テレビくん」「バリバラ」など青少年や子ども向け番組、教育番組、福祉番組を制作している。

■ ドラマ・芸能

連続テレビ小説や大河ドラマなど、さまざまなドラマ番組を制作する。また「鶴瓶の家族に乾杯」「プラタモリ」「LIFE!」などの娯楽番組、「うたコン」「SONGS」「ららら♪クラシック」などの音楽番組、「にっぽんの芸能」などの古典芸能番組まで幅広い。

3つのジャンルは番組の大まかな種類で、別々に採用したり、入局後その番組だけを担当するわけではありません。



■ 音響デザイナー

“音の演出”に責任を持ち、音楽、自然音、人工音などを駆使して、番組に厚みと奥行きを出す。また作曲家とタッグを組み、番組が求める音楽を共に作り上げていく。音に対する豊かな感性と、番組のねらいや構成についての深く鋭い理解力が求められ、番組の音をトータルで計算し演出していく仕事である。



■ アナウンサー

「ことば」を駆使して視聴者に伝える音声表現のスペシャリスト。アナウンス技術を日々磨くのはもちろん、ジャーナリストとしての視点を持って多様なテーマを取材する。ニュースキャスター、司会、スポーツ実況、生中継、インタビュー、ナレーションなど活躍する場は広い。豊かで臨機応変なコミュニケーション能力が求められる。



■ 記者

世の中で起きる森羅万象を追いかけ、真実に迫る。テーマは政治、経済、事件、災害、国際情勢、スポーツなど多岐にわたり、国内外がフィールド。取材内容はテレビのニュースで伝えるのはもちろん、インターネットで展開するほか世界に向けても発信する。自分の問題意識に沿ってテーマをじっくりと掘り下げ、調査報道を行ったり「NHKスペシャル」などの番組に結実させたりすることも。



■ 映像取材

社会のさまざまな「現場」を見つめ、映像に切り取る。事件・事故の発生現場で歴史の証人となり、スポーツ報道では選手たちの一瞬の技をとらえる。現場上空のヘリコプターからの中継や、自ら企画したりレポートの制作もする。活躍の舞台は海外にも広がり、事件や大災害の現場にいち早く駆けつけて、映像を世界に向けて発信する。



■ 映像制作

世界中から集まる膨大な映像の中から、決定的なシーンを素早く選び出して編集し、ニュースを分かりやすく構成する映像のプロ集団。政治、経済、事件、災害、スポーツなど、あらゆる分野のニュースの本質を映像で的確に見せる。日々のニュース番組だけでなく、「NHKスペシャル」などの番組の編集も担当。時には自ら企画を立てて取材し、レポートもする。



組織を動かす

■ 放送事業のマネジメント

「放送事業のマネジメント」は、大きく分けてふたつの役割がある。ひとつは、より良い放送・サービスを創造していくため、放送現場と密接に連携して、幅広くヒト・モノ・カネを管理していくこと。もうひとつは、NHKの財源である「放送受信料」を確保し、受信料制度に対する理解と支持を広げ、受信料の公平負担に向けた取り組みを進めていくこと。

専門能力を磨くだけでなく、ジョブローテーションによって多様な業務を経験して、放送事業全体をマネジメントする能力を高めていくことが求められる。

業務を大きく分けると、以下のようなジャンルがある。



<p>【財務】 NHK全体の予算編成や決算、個別の番組の予算管理、設備の調達のほか大規模工事の契約などを行う。</p>	<p>【編成】 番組提案の募集・採択から緊急時の番組変更対応のほか、新たな放送サービスの企画・実施を行う。</p>
<p>【総務】 職員が働きやすい職場環境を管理・整備する。災害時など緊急報道での後方支援も行う。人事業務にも携わる。</p>	<p>【イベント】 公開番組、スポーツイベント、美術展など放送と連動したさまざまなイベントの企画・実施を行う。</p>
<p>【広報】 番組の紹介やその魅力を伝える番組広報、NHKの事業活動の周知を図る経営広報などを行う。</p>	<p>【著作権】 出演者などへの報酬基準の設定、著作権団体との交渉など、権利情報の管理や番組資産の保存・活用を行う。</p>
<p>【経営スタッフ】 いかに時代を先取りしていくか中長期の経営計画の立案に携わる。法務業務やコンプライアンス推進も行う。</p>	<p>【放送文化研究】 世論調査や国内外の放送業界の動向など放送に関する調査・研究により、NHKの放送事業展開を支える。</p>

【営業企画】

公共放送NHKの財源である受信料の確保と公平負担に向けた営業活動をマネジメントする。

受信料の契約業務などを行う法人事業者や地域スタッフの管理・育成、ケーブルテレビ事業者などとの渉外活動のほか、イベントや広報、地域に密着した番組と連携し視聴者との結びつきを深める営業活動の企画・推進を担当する。

また社会・経済状況の変化に応じたより公平で合理的な支払い方法の検討など、受信料体系の改革・設計も行う。



技術で伝える

■ 技術

【コンテンツ制作技術】

魅力的で質の高い番組や緊急報道中継などで映像や音声を作り出す技術を担当する。ニュース・報道番組、ドラマ、音楽・芸能、スポーツなどさまざまなジャンルの撮影、音声、照明、ビデオエンジニアや、最新の技術を駆使して撮影不可能な映像を制作するCG/VFX制作などの業務がある。ハイブリッドキャストやインターネットコンテンツなどのデジタルサービスのコンテンツ開発も担う。



【放送技術研究】

より豊かで便利な次世代の放送・サービスを提案し、実現するための研究・開発を担当する。AI技術を活用した映像表現技術等の研究、インターネットや通信技術を放送に応用する研究、自然で見やすい立体テレビの研究、フレキシブルディスプレイなどの放送用デバイスの研究、人にやさしい放送を実現するための研究などにも取り組む。



【放送システム開発・運用】

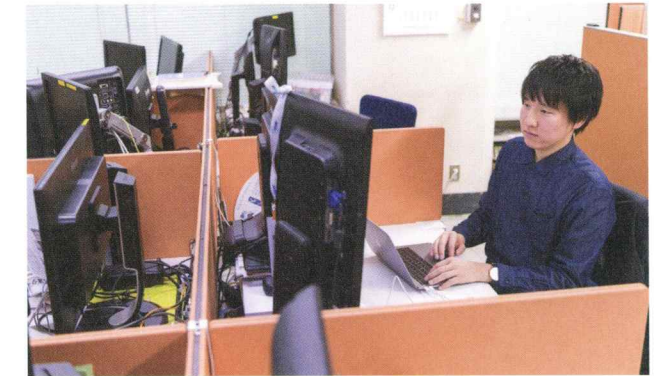
より魅力的な番組制作に向けたカメラや中継車、スタジオ設備などの番組制作設備の開発や、デジタルサービスのシステム開発を担当する。また、番組・ニュースを確実に放送する送出システムや、緊急報道現場から放送局までの映像伝送回線を構築する

ための取材映像伝送設備を開発・運用する業務がある。さらに、ITを駆使した新たな放送システム設備の開発や、24時間365日確実に放送電波を届けるため、送信・受信システムの開発・運用管理、受信環境の調査分析・改善も担う。



【情報システム技術】

NHKのあらゆる業務に欠かせない情報システムの計画的な開発・整備や安定運用を担う。また、情報システムを安全・安心に活用するため、情報セキュリティシステムの開発・運用管理も担う。



【建築技術】

放送会館や放送所、スタジオ設備の設計・建築業務を担当する。渋谷の放送センターの建て替えでは中心的役割を担う。24時間放送を支える堅牢な電源・空調などの会館設備も開発する。





<http://www.nhk.or.jp/saiyo/>

NHK

NHK 採用デスク
〒150-8001 東京都渋谷区神南 2-2-1
Tel.03-5455-7900
(平日10:00~18:00※土日祝除く)

